

PREMIUM HEADPHONE GUIDE

特別付録

ヘッドホンカレンダー
2018年版

magazine

Vol.9

2018 Edition ¥1,200

[プレミアムヘッドホンガイドマガジン]

完全ワイヤレス
徹底ガイド

ハイエンド
ヘッドホン
10機種実力検証

平面型ヘッドホン

イヤーチップ
選び方ガイド

ソニーZX300
&AKシリーズ
ハイレゾプレーヤー

ヘッドホン傑作選



ルビーのような 煌めきのある音を 身に纏う悦び

アナログの世界で絶大な存在感を示す老舗ブランド、ナガオカ。最新イヤホン「R1」は、同社がレコード針製造で長年培ってきた精密微細加工技術を存分に生かした、才色兼備の逸品だ。

【バランスド・アーマチュア型イヤホン】

NAGAOKA -JEWEL TONE- R1

YOPEN(実勢価格¥46,000前後)

「ジュエルトーン」復活を象徴
伝統の切削技術活用モデル

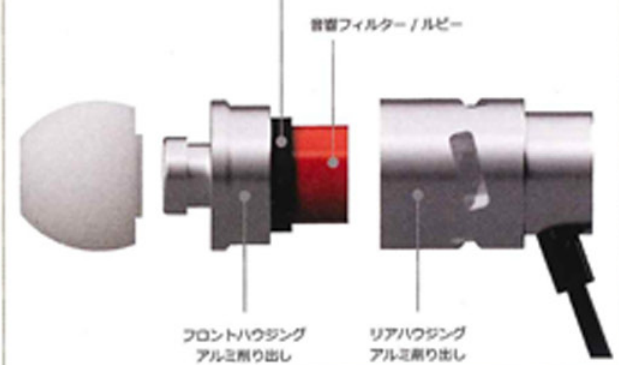
かつて、世界最大のレコード針供給メーカーとして、オーディオ界を席巻したナガオカ。1940年に、機械式時計の軸受け製作で創業し、戦後はレコード用サファイヤ針の製造に着手。70年代にはダイヤモンド針の生産に軸足を移し、その後、カートリッジ・ブランドのトップメーカーとして君臨。80年代には、国産のイヤホンシリーズも展開した。現在では、山形県東根市に生産部門の一部を移し、レコード針をはじめ、超硬合金加工など、精密・微細加工事業まで幅広く手掛ける。2016年にはハイレゾ対応イヤホン・ヘッドホン「美音(VINON)」ブランドのリリースや、天童木工とコラボレーションしたオリジナル木製ヘッドホンスタンド「櫛(KESAKI)」をリリースしたことで記憶に新しい。

本機「R1」は、ナガオカのハイエンドブランドとして一世を風靡した「JEWEL TONE(ジュエルトーン)」ブランド復活を象徴するモデルである。同ブランドは、現在でもキング・オブ・カートリッジと語り継がれる、誉れ高きリボン型カートリッジ「JTRⅢ/D」など、伝説的なプロダクトを生みだしてきた由緒あるブランドである。

そんなブランドに相応しい高い品質とオリジナリティを確保するべく、R1はMade in Japanにこだわって

TECHNOLOGY

1磁極型バランスド・アーマチュア・ユニット



1磁極型バランスド・アーマチュアを搭載

ドライバーには1磁極型バランスド・アーマチュアユニットを搭載。硬く大きな振動板を持つアーマチュアと磁気回路を高精度でバランスよく調整したユニットは、高感度で応答性が高く、解像度、定位感、空間表現に優れているという。また、ボックス状になっている2磁極型に対し、音響フィルターで音質を調整できることも、1磁極型採用の決め手だったようだ。

TECHNOLOGY

音響フィルターにルビーを採用

「低共振」というコンセプトのもと、音響フィルターには、高硬度の単結晶素材であるルビーを採用し、パーツそのものの共振を抑え、低域を補っている。ルビーは難削材と呼ばれ、接合、研磨、切削などには高度な技術力が求められるが、長年のレコード針製造で培った精密微細加工技術を生かし、人工ルビー塊をフィルターに加工している。



LINEUP

R1

¥OPEN(実売価格¥46,000前後)

SPEC ●型式:密閉バランスド・アーマチュア型 ●再生周波数帯域:4~90,000Hz ●インピーダンス:31Ω ●感度:113dB ●ケーブルの長さ:1.2m ●付属品:イヤークリップ(シリコンS/M/L、COMPLY L)、キャリングポーチ、交換用耳垢防止フィルター交換用キット ほか



ハウジングにはアルミ削り出しを採用することで、音に悪影響を与える不要共振を抑制。ルビーのフィルターを見せるデザイン面において加工しやすいこともアルミ採用の理由だという。

ひとつひとつの音が明瞭性に富み、色どりに張り出しよく展開。そのサウンドは、鮮やかで生き生きとしたボーカル表現が印象的だ。音の定位がよく、メインボーカルやその左右に展開するバックコーラス、そして旋律楽器が、色どりに張り出しよく展開する。ドライバーの性能と、それを支えるアルミ筐体や硬度の高いルビーフィルターの恩恵が、ひとつひとつの音が明瞭性に富んでいる。加えて、中低域に十全な厚みがあり、バスドラムやエレクトリックペーリスの音色に、積極性溢れる下支えがあ

音の要となるドライバーユニットには、国内メーカー製バランスド・アーマチュアユニットを厳選。解像度が高く、定位感に優れた1磁極型を採用しているという。ケーブルにも配慮を徹底。ユニットが備える高解像度な音響特性を活かすべく、吟味の末、4N OFCの銀メッキケーブルがチョイスされている。

開発された。レコード針等で培ったナガオカならではの高度な切削技術を活かすべく、音響フィルターにはダイヤモンドに次ぐ硬度を持つ難削材「ルビー」を採用。同社製のオーディオ用インシュレーターでも馴染みの素材だ。アルミ削り出しのハウジングから、チラリと顔を覗かせる深紅のパーツがそれである。ルビー部は透光性があり、明るい場所でも透き通って見える様は、まさにさりげないジュエルのようでもある。

HISTORY



レコード針のメーカーとしてつとに有名で、世界に供給されるダイヤモンド針の9割強のシェアを誇っていたというナガオカ。2020年の創業80周年に向けて、ハイエンドブランド「ジュエルトーン」が復活を遂げた。

2016	1981	1974	1971	1967	1966	1956	1947	1940
高音質オーディオブランド「美音(VINON)」を設立。	キング・オブ・カートリッジと呼ばれたダイヤモンドカッター「JTRM/D」を発売。	東芝総合研究所との技術指導提携により、4チャネルレコード針「ウルトラEX」を完成。	関連会社ジュエルトーン株式会社を設立し、カートリッジ部門の強化を図る。	リボン式カートリッジ「NR1」完成、市販。業界より高い評価を受ける。	新接着方式によるメタルポイント・ダイヤモンド針の大量生産に成功。	日本初のダイヤモンド入替針の完成。	サファイヤ針の市販に着手。	合資会社長岡時計部品製作所を創立。機械式時計の軸受の製作を行っていた。

る。よって、シャープな視界を持ちながらも、密度ある充実した音色で音楽を楽しませてくれるのだ。また、113dBと非常に高感度なため、接続機器を選ばず十分な音量が得られることも特徴的だ。なお、同ブランドは新たなヘッドホンも発表予定とのこと、ナガオカが提案するジャパン・メイドのサウンドに、引き続き期待を寄せたい。

ココをチェックした!!

イヤホンはONKYO/DP-X1Aと、ヘッドホンはONKYO/DP-X1AやSONY/TA-ZH1ESを使用して音質を検証。「バランス」、「音場感」、「音の表現」の3項目とともに、各音楽ジャンルとの相性もチェックしました。

1 バランス

音楽全体を聴いて低音の厚みや重さが目立つ場合は「重低音」側、高音の明るさや鋭さが目立つ場合は「中高音」側にマーク。

2 音場感

音が密で前後に重なる配置と感じられる場合は「奥行き」、空間に余白を残して左右の広がりも豊かな場合は「広がり」側にマーク。

3 音の表現

荒さや勢いもあるダイナミックな音調の場合は「迫力」、繊細なタッチや響きを細やかに描く音調の場合は「繊細」側にマーク。

4 音楽ジャンルごとの相性

ロック

ポップスも含め、MAN WITH A MISSION×Zebrahead「Out of Control」、いきものがかり「ありがとう」を視聴。低音のキレのよさやボーカルの質感などを重視。

クラシック

カルロス・クライバー&ウィーンフィル「ベートーベン交響曲5&7番」を試聴。フルオーケストラ曲であるため、中低音の厚みや全体のダイナミクスに注目。

ジャズ

上原ひろみ「MOVE」とボーカル入りの演奏としてジェーン・モンハイト「Where or When」を視聴。低音にも高音にも偏らないバランスのよさや、演奏のニュアンスや空間性を伝える繊細な表現力などの要素を重視。

クラブ系

Avicii「Wake Me Up」とAriana Grande featuring Zedd「Break Free」を視聴。特に低音(ベース)の表現に注目。厚みやボリューム感に加えて、深く沈みつききつめたキレもあればベスト。

カタログの見方

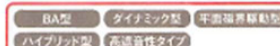


Comply™の対応サイズ(内径)

イヤホンのみ、フォームチップ「Comply™」の対応サイズ(内径)を表示しています。記載はエンターテインメントの欄によるもの。

廃番

生産終了または在庫限りのモデルに記載しています。■「SOLIDEDGE 01 inner (HA-FD01)」は廃番ではありません。



イヤホンのアイコン

●ドライバーの型式…ダイナミック型やバランスド・アーマチュア(BA)型などのドライバーの型式を表示。メーカー非公開のモデルは掲載していません。
●高速音特性タイプ…低反発素材のイヤータップが付属している製品に表示しています。

ヘッドホンのアイコン

●ドライバーの型式…密閉型やオープンエア型、セミオープンエア型などの型式を表示しています。メーカー非公開のモデルは掲載していません。
●折りたたみ式…コンパクトに折りたためるモデルに表示しています。

→ **ハイレゾ対応**
40,000Hz以上の再生周波数帯域を出力できるモデルに表示。

定価
定価の場合は税抜の本体価格を表示。

実勢価格
2017年10月中旬時点での編集部調べによるもの。

イチオシマーク
今期イチオシのモデルを星、野村両氏が厳選。

※本企画は、2009年に弊社より刊行した「プレミアムヘッドホンガイド」vol.1からvol.18に掲載した情報をもとに、加筆訂正を加え、さらに69モデルを加えて構成しています。



NAGAOKA

P902

¥1,180

いま一番聴くべき激安イヤホン



ダイナミック型

SPEC ●イヤータップ:シリコン(S/M/L)



NAGAOKA

P609

¥5,480

超広帯域再生で上質な音を生み出す



ダイナミック型

SPEC ●イヤータップ:シリコン(S/M/L)



NAGAOKA

R1

¥OPEN (実勢価格¥49,680前後)

ルビーで研ぎ出す精密サウンド



BA型

SPEC ●イヤータップ:シリコン(S/M/L)、低反発(M)

※「Comply™>>調査中」となっているモデルは、対応するComplyフォームチップは調査中であり、後日にwww.comply.jpで公開いたしますので、ご検索ください。